

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 15 日作成)

| | | |
|------------------------------|---|---|
| 小委員会名 | 情報連携技術小委員会 | 主 査 名：岡本修平 就任年月：2005 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 情報システム技術委員会 | 委員長名：新宮清志 |
| 設 置 期 間 | 2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>本小委員会は、情報標準関連の研究成果の建築生産実務への適用性の向上を旨とした調査研究、技術検討等を行い、他の関連組織との情報交換、学会内外への成果の広報普及等の活動を通じて、真の情報共有・連携を実現するための技術の発展、建築生産パラダイムの変革等に資することで、学会としての負託に応えることを目的とする。</p> <p>初年度：建築設計、生産の諸段階における情報連携の実態調査、建設 CALS / EC 関連要素技術の検討、ISO、JACIC、C-CADEC、IAI、土木学会、ECOM 等の活動状況分析ならびに情報交換、研究協力</p> <p>2 年度：情報連携水準のレベルアップの可能性追及と、それに応じた前年度提示課題等の検討継続</p> <p>3 年度：初年度提示課題の検討継続、建築生産情報統合ガイドブック第 4 版・情報連携(仮)企画、執筆</p> <p>4 年度：初年度検討課題の検討継続、成果のとりまとめ、建築生産情報統合ガイドブック第 4 版・情報連携(仮)編集、出版、大会研究協議会等開催</p> | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | <p>委員公募の有無：無</p> <p>1) 岡本修平(清水建設) 2) 今野一富(高砂熱学工業)</p> <p>3) 岡 正樹(デルファイ研究所) 4) 塩見忠彦(竹中工務店)</p> <p>5) 清水弘道(アルモ設計) 6) 寺井達夫(千葉工業大学)</p> <p>7) 松並孝明(大林組) 8) 松本勇市(大成建設)</p> <p>9) 三雲正夫(自営) 10) 吉田邦彦(愛知淑徳大学)</p> | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | <p>1) 分類体系・用語WG：分類体系・用語定義、コード体系の標準化</p> <p>2) 建築データモデルWG：データモデル標準化動向と STEP 評価</p> <p>3) 建築図面情報WG：建築設計・生産プロセスの見直しの提案</p> | |
| 2006 年度予算 | 122,000 円 | ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/jyoho/m050/ |

| 項 目 | 自己評価 |
|--------------------------------|---|
| 委員会開催数 | |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | 1. 第 29 回情報・システム・利用・技術シンポジウム小委員会企画研究集会 「発注者ニーズに対応した情報連携技術」 参加者数 43 名 |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 2006 年度目標「情報連携水準のレベルアップの可能性追及」については、異なる観点から議論した研究集会(発注者ニーズに対応した情報連携技術)により、2 年間の活動総括を行い、成果を得た。 (達成度：90%と評価) |
| 委員会活動の問題点・課題 | |
| その他 | |